

SSKU

2015年度

お元気ですか?
イリアンソス
です。



社会福祉法人イリアンソス

●のぞみの家

東久留米市下里2-7-18
042-473-9027
042-473-9036 (F)
nozomi@iriansos.or.jp

●活動センターかなえ

東久留米市八幡町1-1-12
042-420-6316
042-420-6341 (F)
kanae@iriansos.or.jp

●なかまの家

東久留米市中央町2-1-47
042-472-7130
042-444-3722 (F)
nakama@iriansos.or.jp

●生活寮「うみ」「そら」

東久留米市下里4-2-7
042-476-3400 (F兼)
sora@iriansos.or.jp

●生活寮「にじ」「かぜ」

東久留米市下里5-10-10
042-420-9943
kaze@iriansos.or.jp

●このみ

東久留米市幸町3-8-23
042-473-9667

PAGE

02

理事長の散歩道⑨

PAGE

03

特集 かなえ建設

PAGE

06

コラム イリアンソス交流会

施設紹介 のぞみの家

PAGE

07

連載 がんばれイリアンソス⑮

なかまの家 パートさんインタビュー



理事長の散歩道



理事長の散歩道 ⑨

社会福祉法人イリアンソス
理事長 磯部光孝

ノーマライゼーションの知らない街づくり

3月15日・16日と陸前高田に行ってきました。国連防災世界会議関連事業の「高齢者・障がい者と防災シンポジウム」に参加するためです。この国連防災世界会議は、今年で ∞ 回目を向かえ、東日本大震災における経験と教訓や防災、復興に関する取り組みを国内外に発信し、共有することにより、世界の防災の取り組みの推進に貢献していくことを

目的にして開催されました。この会議は13日・18日の2日間行われ、会場も仙台市を中心に福島や陸前高田で \pm 万人以上の国内外の人たちが参加しました。

わたしの参加したシンポジウムでは、陸前高田市の戸羽市長をはじめ、国連の障害者権利条約事務局長の伊藤さんや地元の社会福祉法人の理事長などが壇上に立ち発言されました。陸前高田の復興の言葉である「ノーマライゼーション」という言葉の知らないまちづくりにむけて」の実現をテーマに、震災当時の話から現在の復興状況、今後の取り組みなど話し合いました。この陸前高田市の取り組みは、国連も障害者団体も注目している」と司会の藤井さんが励ましていました。

震災の教訓を広く伝える

シンポジウムの前に、陸前高田市の障害者の実態調査を行ったスタッフが3年ぶりに集まり、一緒に現在の復興状況を視察しました。以前あった津波で倒壊した建物は、ほとんど撤去され、かわりに巨大なコンベヤーが橋のように気仙川に架かり土砂を流し、巨大なトラックがかさ上げした土地を縦横に走り回っていました。そんな中、地元のガイドさんに震災の時と復興の話聞かせてもらいました。

特に印象的だった話は、川沿いの気仙小学校の避難の話でした。小学校には当時、全校児童92人がおり、海岸から約2kmでしたが、児童は全員無事でした。判断を間違えれば大惨事になっていたとガイドさんが話してくれました。特に、学校のマニュアルでは校庭で待機することになっていましたが、それを無視して教員が緊急事態と判断して高台に

避難したこと、そこで安心せずにもう一つ上の高台に2度避難したことが、無事でいられた原因だったそうです。逆に学校を休んで自宅にいた児童の方が亡くなられてしまったと話してくれました。

こうした話は多分被災した各地にも、たくさんあるのだらうと思います。案内してくれたガイドさんもこの地域には何度も津波が来ていて、今回は昔の教訓が生かされなかった場面が多くあったと振り返ってくれました。しかし、こうした被害が2度と繰り返されないうために、ガイドとなって今回の教訓を語り継いでいくことを一生の仕事としていくと語ってくれました。

わたしたちも改めて被災地の現状を目の当たりにして、しっかりと被災地とつながっていくことが自分たちの大きな役割だと実感しました。

今回の震災で、障害のある方々の死亡率は

ない人と比べると2倍にもなります。そして、仮設住宅で暮らしている人たちの今の暮らしてさえない大変苦しい現状があります。このことをわれわれも一緒に考えていきたいと改めて考えさせられた陸前高田の研修でした。





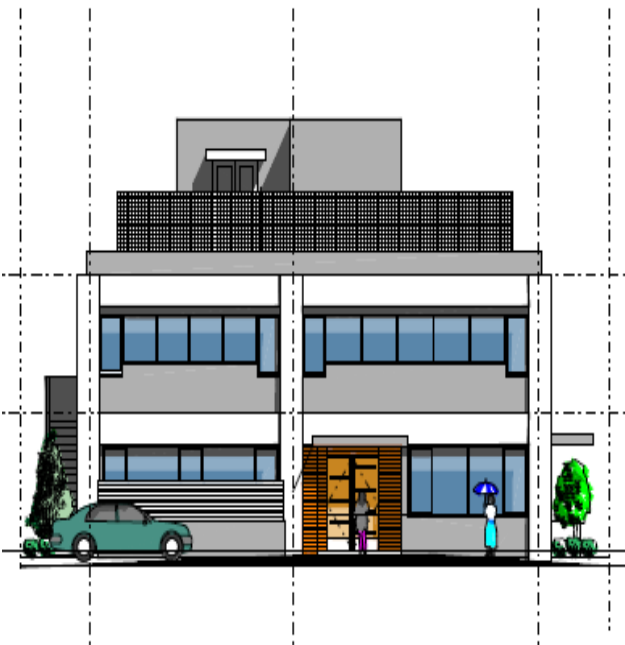
特集

利用者が「安心」して
活動できる場所づくりを目指して
～活動センターかなえ新築工事はじまる～

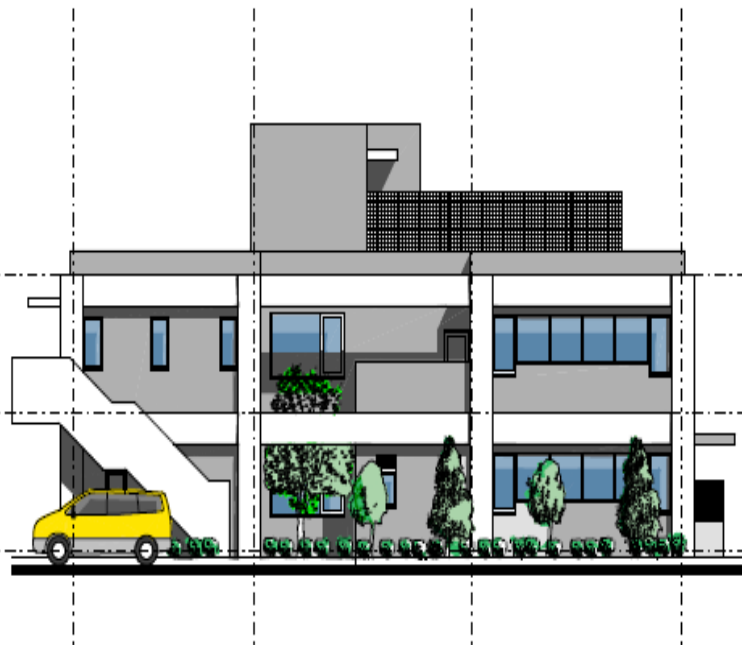


現在、南沢の旧いづみ幼稚園跡地には、白い囲いがされて重機が入り建設工事が始まっています。

新築物は下図の通りですが、設計の中で大切にしてきたことは、様々な障害のある人たちの活動の場として、必要な空間を作ることと、しかしながら建物自体は、「普通に使う」「だれでもが使える」ということを基本的に検討してきました。例えば、各部屋に自閉障害の方のため仕切りをつけることを検討しましたが、それは利用する全員に必要なのか、自閉の人だけでなく、少し一人になりたい人、着替えをしたい人も使えるようにしようと、各部屋に小さな個室をつくることにしました。また、駐車場は利用者送迎用と来客用に分けて、安全に配慮をしました。



南側立面図



西側立面図



旧かなえ
(旧いずみ幼稚園の2階を使用していました)

この工事の開始にはたくさんの方のハードルがありましたが、様々な方々のご理解とご協力があつた。昨年8月に東京都より施設整備費国庫補助金の内示をいただくことができました。それを受けて法人では急ピッチで建設開始に向けて準備を進めてきました。建設業者を決めるにあたり入札を行うも「不調」となり、一ヶ月半後に「再入札」をしてやっと業者が決まりました。この現象は昨今の社会状況の中で、施主と業者間で金額の乖離があり、マスコミでも報道されている通りです。



現在 (3/23) の様子

活動センターかなえ建設費用も法人理事会で価格の設定を見直すなどの対応を行ってきました。最終的に自己負担額が増えることになりましたが、地域の障害者福祉に貢献していくためにも必要と理事会でも議論をおこなっていただきました。完成は今年の11月を予定しており、その後現在の八幡町の仮設から再び引っ越しをする予定です。

活動センターかなえ 新築工事資金計画

施設整備費 合計金額	229,685,952 円
都補助額	165,666,000 円
国庫負担分	60,933,000 円
都負担分	104,733,000 円
医療機構借入金	30,000,000 円
法人自己資金	34,019,952 円

コラム 「イリアンソス交流会」

2月20日(金)に毎年恒例の法人全体行事『祝う会&交流会』を行いました。
午前中の『祝う会』では今年度の新入所者である活動センターかなえの中村豊さん、なかまの家の野島信子さん、そして今年成人式を迎える活動センターかなえの佐藤碧さんを含んでお祝いしました。
家族の方や来賓の方にもたくさん来て頂き盛大に行う事ができました。来賓の方や家族の方からのお話し、先輩の利用者さんからのお祝いの言葉、
「これからも、がんばるぞ！」の気持ちをエイエイオーで表現したり、あいさつが終わった後の利用者さん同士のハイタッチをしたり、ひとつひとつの場面が心に残る祝う会になりました。
午後はみんなで楽しく『交流会』です。いくつかのチームに分かれてのチーム対抗OXゲームや大好きな曲に合わせて歌ったり踊ったりと大変盛り上がり楽しい時間を過ごしました。
この『祝う会&交流会』はイリアンソスの日中事業所の利用者さん全員が集まる唯一の行事です。
また来年もみんなで楽しく交流会が楽しみです。



新入所の中村豊さん



新成人の佐藤碧さん



新入所の野島信子さん

最後になりましたが、お忙しい中ご出席いただきましたご家族、ご来賓の皆様、ありがとうございました。



「なかまの家」に生命保険協会様より、軽自動車をいただきました。保有している車両で送迎や資源回収を行っているため、軽自動車が一台あることで活動の幅が広がり、通院や緊急時の対応がしやすくなります。本当にありがとうございます。

寄贈 「軽自動車」



Aさん：勤務4年目
Bさん：勤務2年目
Cさん：勤務2年目

●現場で働いていて嬉しく思う事は何ですか？

Aさん…とても難しい事ですが、作業を見守っている中、利用者さんが「ここまでするまで一人で行けるんだ！」というところを発見できた時、本当の支援ができたのかなど嬉しく思います。
Bさん…支援をしている時に利用者さんからの反応（笑顔、返事など）が返ってきたときに嬉しく思います。

連載 がんばれ イリアンソス！ シリーズ⑮
なかまの家パートさんインタビュー

Cさん…自分の名前を間違わずに呼んでくれたりした時に嬉しく思います。そんな時は利用者さんに自分を認識してもらえたんだなあと感じがします。

●利用者さんと関わる中で大切に考えていることは何ですか？

Aさん…利用者さんのペースや体調に合わせて作業する事を心がけています。
Bさん…利用者さんの気持ちをくんだり、体調を気にしながら支援することを大切にしています。安全第一を考えて関わっています。

Cさん…自分のバディだけでなく活動全体も見ながら支援することを大切にしています。また他のスタッフが利用者さんとのように接しているのかも参考にしたい、それを自分の中に取り入れていく事も大切だと思います。

●将来的に利用者さんと一緒にやってみたい活動はありますか？

Aさん…畑仕事をしてみたいですね。今やっている缶つぶしのようにお庭を利

用して何か作業ができると良いです。体を動かすことが好きな利用者さんもありますし。また買い物など行くときに天候や体調が良ければ歩いていけたらいいなと思います。

Bさん…押し花でしおり作りがしたいです。作ったら作品展などにも出品したりできたら良いなと思います。また畑などで花も栽培してそれを押し花に使えたら利用者さんも自分たちが作った物を使って嬉しいのではないかと 생각합니다。

Cさん…畑仕事がしてみたいです。色んな野菜（イモ、大根、ニンジン、ホウレンソウなど）を作ってそれを調理活動で活かせるのではないかと 생각합니다。

今回はお忙しい中インタビューに協力していただき本当にありがとうございます。このインタビューを通してパートさんたちの思っている事や考えを知り、とても有意義な時間でした。

法人行事

『リサイクル久留店』 くるてん

のぞみの家 チャレンジ班が中心となっておこなうバザーです。

◎日程：5月14日(木) 28日(木)

◎場所：滝山団地センター前広場

※雨天中止 気温によって中止・開催時間短縮の場合もあります。

ご寄付をいただきました。

(3月末まで)

法人各施設にご寄付をいただいております。誠に
ありがとうございます。

いただいたご寄付は法人各施設の充実や、将来構
想の資金として大切に使用させていただきます。

佐藤 絵里子様
藤田 祐子様

一般社団法人 むつみ会様
(株)イトーヨーカドー労働組合様

ありがとうございます。

表紙の写真

イリアンソス交流会

主役の3名がカメラ目線の1枚!! 皆は、
まだまだ集合中

《 発行 》

特定非営利法人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21

Tel 03-3416-1698 Fax 03-3416-3129

《 企画、編集 》

社会福祉法人 イリアンソス

〒203-0043 東京都東久留米市下里 2-7-18

Tel 042-473-9027 Fax 042-473-9036

《 編集委員会 》

磯部光孝・多田由美・廣智章

矢島正樹・吉田遊佑・勝田誠矢

ホームページからはカラーで
ご覧いただけます

イリアンソス



定価 100円

編集後記

長男の高校受験が終わりまし
た。進学する高校で、制服、作
業着、体育着・・・などを採
寸し、送り先などを記入し、購
入金額欄を見てびっくり!これ
らを足すといくらかになるのか怖
いくらいでした。そもそも受験
前から、高校の受検料、塾代、

英検の受験料、部活の打ち上
げ?極めは、第二希望の私立高
校の費用をみて・・・絶句しま
した。「15の春は泣かせない」
と数十年前に京都府知事が受験
戦争を緩和する教育行政を行
いました。希望する高校にすべ
ての子供が親が、何の心配もな
く入学できるように、全員晴れ
やかに中学校を卒業できる社会
であってほしいと強く思った六
か月間でした。

多田由美